

年頭のご



新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、お健やかに良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、町制施行60周年の節目を迎えました。編纂された白鷹町史を拝見し、町民歌の「幸ありき 遠きわれらの親たちが 励み育てて伝え来し 白鷹」という一節のとおり、あらため

て先人や諸先輩の皆様には敬意と感謝の意を表するとともに、次代へ向けての更なる町政発展の務めを果たすべく思いを強くいたしました。

新年度からは、東西中学校及び鷹山・荒砥小学校の統合、コミュニティセンター化など、新しい組織や制度が導入されます。これまでも増して夢や希望が生まれ、活力あるまちづくりを期待するものです。

一方で本町は、2年続きの豪雨災害に見舞われ、いまだにその爪痕が残っております。災害時には、消防団員をはじめ、地域の皆様のご尽力により最小限の被害に止めていただいたものと感謝申し上げます。これらを教訓として、更に安心して安全な暮らしができるように万全を期するとともに、災害のない年となることをお祈りいたします。

年末の衆議院総選挙も終わり、経済対策や地方創生といった政策が進められていくことと思います。多くの地方自治体は、人口減少、少子高齢化、地域経済等の現実と課題を抱え、これらを乗り越えるための創意工夫や企画力がこれまで以上に求められる時代となりました。地方創生が叫ばれる今こそ、もう一度足元を見つめ直し、地域資源の再認識、地域の信頼や連携を通じて、今日まで先人が築き上げてくれた白鷹を、さらに自信と誇りが持てる町として後世に引き継いでゆく努力をしなければなりません。

地方議会にとりまして、更に研鑽と研究が求められております。議会の情報公開や説明責任を果たしながら、町民の皆様の負託に応える議会運営を目指してまいります。

結びに、新しい年が、町民の皆様にとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げごあいさつといたします。

白鷹町議会議長 今野正明